

2019年1月31日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2019年冬)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <http://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

○ 佐賀県の景気は、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。公共投資は、低水準で推移している。

こうした中で、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は振れを伴いながらも持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境の持ち直しが個人消費の更なる回復に繋がること
が期待されるが、人手不足が企業活動などに及ぼす影響について注視していく必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回(2018年秋)	今回(2019年冬)
景気全体		緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
	住宅投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	公共投資	低水準で推移している。	低水準で推移している。
	設備投資	増加している。	増加している。
生産		横ばい圏内で推移している。	緩やかに持ち直している。
雇用・所得		労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は振れを伴いながらも持ち直している。	労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は振れを伴いながらも持ち直している。

2. 個人消費

- 個人消費は、緩やかに回復している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店・スーパー売上高	横ばい圏内で推移している。
	コンビニエンスストア売上高	新規出店効果などから増加している。
耐久消費財	家電販売	白物家電やテレビを中心に買い替え需要が広がっていることから、増加している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	緩やかに持ち直している。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行は、持ち直しつつある。 観光は、国際線の増便効果もあって外国人観光客を中心に緩やかな増加が続いている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、高水準で推移している。

4. 公共投資

- 公共投資は、低水準で推移している。

2018年10月～12月の公共工事請負金額は前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、増加している。

法人企業景気予測調査（2018年10～12月期調査）における2018年度の設備投資は、製造業・非製造業ともに前年を上回る計画となっている。

6. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、緩やかに持ち直している。

▽主要業種の生産動向

食料品	緩やかに持ち直している。
化学	国内向けを中心に堅調に推移している。
輸送機械	増加している。
一般機械等	低水準の生産が続いている。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得は振れを伴いながらも持ち直している。

有効求人倍率は、緩やかな上昇基調をたどっている（11月：1.30倍）。10月の雇用者所得総額¹は、常用労働者数の増加を主因に前年を上回った（10月：+1.2%）。

8. 物価

- 12月の消費者物価（佐賀市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（12月：+1.0%）。

9. 金融²

- 11月の預金残高をみると、個人預金を中心に前年を上回った（11月：+1.3%）。
- 11月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った（11月：+0.4%）。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額（名目）<ともに事業所規模5人以上>」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く）の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「地域の時系列データ」（佐賀県）参照。